

Q⁵ 星空案内人資格制度は 誰がどんな目的で行っているのですか？

A⁵ 理科離れなどと言われ科学に対する興味の低下現象を憂う声が聞かれます。そこで今、注目されるのは、研究者と市民をつなぐサイエンスコミュニケーターとよばれる人材です。星空案内人はまさに宇宙・天文に関するサイエンスコミュニケーターです。しかも、星空はサイエンスだけでなく、こころの安らぎを与えるヒーリング効果もあり、その社会的な役割は広いものがあります。

このような星空案内人がたくさん誕生すれば、そして、全国津々浦々で星空案内が日常的に行われるようになれば、天文ボランティアが盛んになり、地域の社会が豊かになるでしょう。そのような考えから星空案内人養成に積極的な有志があつまって「星空案内人資格認定制度運営委員会」を構成し、この制度を運営しています。

現在の運営団体は下記のホームページをご覧ください。

Q 仕事の都合で認定講座(最低5講座と認定試験)は
とても全て受講できません。

A

少しづつ単位を貯めて何年かけて資格をとることもできます。
今年は2つ受講して2つの単位をとり、来年は別の講座に出て...と貯金して行くことがお勧めです。
星空を一巡するのに1年かかります。短期に資格をとるよりのんびり時間をかけるのも良い考えです。

Q

資格は取りたいけれど近くに開催地がありません。
とても通うのは無理です。

A

現在、次のような努力をしています。

- ① 各地の公開天文台、科学館、プラネタリウム館などが協力団体となって下されば、いろいろな地域で講座開講や認定を実施できるとおもいます。
2007年度末で全国8ヶ所で実施されています。今後もどんどん増えてゆくでしょう。
また、本制度を運用・実施下さる団体を募集しています。
- ② 講義をビデオ教材として提供し、遠隔地でも受講できるようにできないか検討しています。
あとは少ない数のスクーリングを通して実習の単位をとり、資格が得られるようにしたいと思っています。

すぐにというわけには行きませんが、現在、このような努力しております。
しばらくお待ち下さい。

【小史】

1998年	山形大学と小さな天文学者の会の連携活動の始まり
2003年	「やまがた天文台」開設と同時に星空案内人制度仮運用の開始
2006年	JSTモデル事業により本格運用開始
2007年	全国での試験実施開始
2007年	星空案内人資格認定制度運営委員会発足
2008年	新制度全国8団体での運用開始

やさしい宇宙講座の開催予定や申込方法が知りたいとき、
または、星空案内人認定制度について詳しく知りたいときは、以下にお問い合わせ下さい。

ホームページ <http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/yao> E-mail hoshizora@sci.kj.yamagata-u.ac.jp



星空案内人資格認定制度事務局
山形大学 理学部
NPO法人 小さな天文学者の会
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

※本事業は平成19年度科学技術振興機構(JST)地域科学技術理解増進活動推進事業の助成を受けています。
※星空案内資格認定制度の運営・維持は同制度の運営団体が行っています。

★星のソムリエ★

星空案内人 資格認定制度

Certificate of The Astronomy Guide



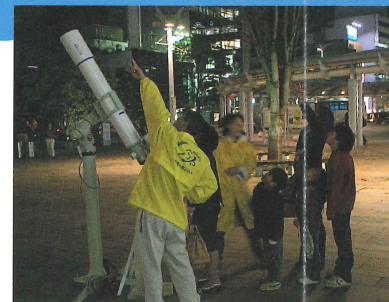
資格認定制度とは？

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれるのが星空案内人です。資格をとって、科学館や学校で指導したり、地域のボランティアとして活動してみませんか。子どもたちに星空や宇宙の世界を語ってみませんか。

星空案内人資格認定制度運営委員会

資格取得へいざ出発！

さて、資格に挑戦してみようと思われたなら、具体的にどうすればよいのでしょうか。



★資格取得までのおおまかな流れ



※本資格の運営団体、講座開催場所や日時については、最新の情報を以下から取得して下さい。

<http://astr-www.kj.yamagata-u.ac.jp/yao/ann/N.html>

資格は、2段階になっています。

星空案内人 (準案内人) The Astronomy Guide (Associate Guide)	最初のステップが「準案内人」。ひと通りの勉強が終わった段階です。これから実技科目の認定を受ける段階へと進みます。この時期、公開天文台に通ったりしながら実技練習を積むと良いでしょう。
星空案内人 The Astronomy Guide	星空案内の実技試験も合格し、実際の星空案内などの活動がはじめられる段階です。星のソムリエです。これから実践を積んで腕に研ぎをかけて下さい。

左記2段階の資格は簡単のため、「準案内人」、「案内人」と呼んでいます。「星のソムリエ」は星空案内人に対する愛称です。これまでの実績からすると、準案内人資格は簡単にとれますが、案内人はちょっとハードルが高いようです。少し時間がかかってしまいますが、星のソムリエへの道と思いがんばりましょう。宇宙を見て、楽しみながら。まず、準案内人になり、次に、観望会や天文台でお手伝いしながら徐々に技術を身に付け、実技の単位を取得してゆくといでしょう。最後の仕上げは、通称「路上試験」と言っている「星空案内の実際」という実技科目の認定試験です。

講座の各科目には単位認定試験があります。該当する科目の授業に出席し試験に合格するとその科目の単位が取得できます。

【別表】認定講座開講科目と星空案内人資格要件

必修科目		準案内人	星空案内人
「さあ、はじめよう」	講義科目	単位取得	単位取得
「望遠鏡のしくみ」	講義科目	単位取得	単位取得
「星空案内の実際」	実技科目	受講	単位取得
選択科目			
「宇宙はどんな世界」	講義科目	3科目以上 受講	3科目以上 単位取得
「星空の文化に親しむ」	講義科目		
「星座をみつけよう」	実技科目		
「望遠鏡を使ってみよう」または「プラネタリウムを使ってみよう」	実技科目		

※講義科目の単位取得には、講座出席と単位認定レポートの合格が必要です。
※実技科目の単位取得には、講座出席と単位認定チェックシートによる実技試験の合格が必要です。
※準案内人、星空案内人の資格要件を満たした場合は、資格認定書発行を講座主催者に依頼下さい。
認定されますと、「認定書」および、実際の活動で使う「認定証(写真入り名札)」が授与されます。



Q1 星空案内人になるには？

A1 星空案内人資格認定講座で勉強したり星空観察の実技練習をします。決められた科目の単位認定を受けることにより星空案内人の資格がとれる制度です。まったくの初心者でもやさしい講座や練習の機会が準備されているので簡単に資格を取得することができます。

Q2 星空案内人資格の特徴は？

A2 星空の案内に必要な知識や技術は意外に広いものです。奥深い天文学の知識、星座探しや小望遠鏡による観察の技能、星座物語など文化に関する知識などです。星空案内に必要な幅広い知識と技能を認定するのが星空案内資格認定制度です。資格を取ることによって自信を持って人に説明したりボランティア活動に参加することができます。

Q3 資格を生かせる場所はあるの？

A3 近くの公開天文台、学校、科学館、公民館、天文愛好会などでは星空教室、星空観察会などを開催しています。そのような行事が活躍の場です。資格をとったら近くの星空案内の活動グループに属したり公開天文台や科学館などにボランティア登録などをすると活動の場が広がります。自分の子や隣人に星空を語るのも楽しい経験です。観光地などで星空案内をする仕事を得る機会もあるかもしれません。

※本制度の運営団体は、星空案内人の活動できる場やイベントなどの情報を紹介します。

Q4 資格はいらないけれど星や宇宙についてちょっと勉強してみたいときは？

A4 星空案内人資格認定講座は、資格取得が目的でなくても、ちょっと勉強したいときにも参加することができます。どうぞ気軽に講座を受けてください。そして、私も星空案内できるかな?と思ったら資格にも挑戦してください。